



日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。

ヒアリ、マダニ…  
虫による病気が話題に

暑い夏が過ぎ、虫の鳴き声が聞こえる季節になりました。今年には虫による病気の話題がテレビ、新聞を賑わしていました。

ヒアリの刺虫症、マダニが媒介する重症熱性血小板減少症が大きく取り上げられています。ヒアリは元々南米に生息していたアリですが、最近中国を経由して日本に入ってきてきました。針を刺して毒を注入し、疼痛、かゆみ、蕁麻疹様の発疹を起します。まれではあります。アレルギー（アナフィラキシーショック）によって死亡することが臨床的には大きな問題です。

つまり、ハチとほぼ同じです。鳥取県ではヒアリはまだ発見されていませんが、港を中心にいずれは侵入してくると考えておくべきで、対策を立てておく必要があります。医者が必要と心配するのはアナフィラキシーが起らないかどうかです。しかし、アナフィラキシーショックは急激に発症するため、病院にたどり着けないことも多く、刺されないように注意することが最も大切です。

**皆さんが注意すべきはマダニ。十分な対策を**

日野郡の皆さんにとつてはヒアリよりも怖いのはマダニです。マダニが媒介する重症熱性血小板減少症（SFTS）は致死率が17%と非常に高く、治療薬やワクチンがまだ開発されていないため、マダニに接触するのをできるだけ防止することが重要です。マダニは裏

庭、あぜ道など身近にどこでもいます。マダニから身を守るためには肌を露出しないように手足はもとより首にもタオルを巻くなど服装に注意するとともに、家に入る前に服を着替え、シャワーすることも有効です。

また、虫除けスプレーを使用することもいいでしょう。幸い、鳥取県は九州、中四国地方で唯一患者が発生していません。しかし、いずれ患者さんがでてくると思います。実はマダニが媒介する病気は重症熱性血小板減少症だけではありません。日本紅斑熱、Q熱、ライム病、ボレリア症、野兔病などが知られています。

このように虫によつて病気が発症することを知識として知っておき、必要な対策をとっておくことが重要です。「転ばぬ先の杖」これが最良の方法です。

## 大切な家族のためにできることを考えよう

9月20日～26日は「動物愛護週間」です。

動物を飼うことは、その命を預かることです。飼い主は、動物が健康で快適に暮らせるようにするとともに、社会や近隣に迷惑を及ぼさないようにする責任があります。

動物愛護管理法では、国民の間に広く動物の愛護と適正な飼育についての理解と関心を深めてもらうため、毎年、9月20日から26日を「動物愛護週間」と定めています。

今年の「動物愛護週間」のテーマは、「ペットも守ろう防災対策」です。

犬や猫などを飼うとき、本当に飼い主の責任を果たすことができるか、きちんと考えていますか？災害が起きた時、ペットをどのように守ることができるか考えておきましょう。もし、飼い主とはぐれてしまうと、野生化したり、最悪の場合、死んでしまうこともあります。

ペットも家族の一員です。動物の愛護と適切な管理、いざという時の防災対策など、ペットの大切な命を守るきっかけにしましょう。



# 長谷部信連公の足跡をたどって

あなみずまち  
石川県六水町を訪問く長谷部信連公没後800年事業



六水町を訪れた町代表团（後ろは長谷部信連をまつた長谷部神社）



祭りでは石川県内の太鼓グループの競演も。地域の活気が伝わってくる



神社では神樂が奉納される

平安末期から鎌倉初期に根雨周辺の開拓や京文化の導入に努め、文化の発展の礎を築いた長谷部信連公没後800年を記念し、町では、7月22日から24日までの3日間、石川県の六水町を訪問しました。

同交流事業では、景山町長ら町の代表团10人が、「第55回長谷部祭り」と同時開催された長谷部信連公没後800年祭に出席。当日は、悪天候により、まちなかを踊りの列が練り歩く信連行列は中止になったものの、長谷部神社や民俗資料館を視察し、信連公についての知識を深めました。

六水町とは遠く離れているものの、800年前に信連公が築いたきずなを再認識することとなった3日間。町では、今回の交流事業を通し、両町のつながりを深め、信連公が築きあげた根雨のまちなかのように、活気あるまちづくりを生かしていきます。

## 災害に強い地域づくりに役立てませんか？

### 支え愛マップづくり研修会を開きます

「支え愛マップ」とは、地域の高齢者や障がい者など援護を必要とする人たちが地域で安心して暮らせる地域づくりのため、地域の中にどのような要支援者が住んでいるか、どのような地域課題があるかなどを地図上に落とし込み、住民同士が情報を把握、課題解決に向けて話し合う支えあいの地域づくりを地図（マップ）にしたものです。

支え愛マップづくりでは、単に完成させるだけでなく、「話し合い」の中からさまざまな気づきが生まれます。それらが地域の見守り体制の構築、活性化へつながっていきます。マップづくりに取り組んでいる自治会も、そうでない自治会の皆さんも、ぜひ研修に参加ください。

▼日時 10月12日（木）午後1時30分 ▼場所 山村開発センター・大集会室 ▼参加 無料

▼対象 自治会長、自主防災会長、民生児童委員など、地域福祉活動などに携わっている人

▼申込み 9月20日の自治会文書で配布したチラシ兼参加申込票に必要事項を記入の上、役場健康福祉課に持参いただくか、鳥取県社会福祉協議会にFAXしてください。

▼問合せ先 鳥取県社会福祉協議会地域福祉部 担当 松田・永見（電話 0857-59-6332）  
役場健康福祉課 担当 杉原（電話 72-0334）

